

# 鳥取縣公報

第五百八十七號

昭和十年一月八日

火曜日

## 縣令

### ◇鳥取縣令第一號

牛乳營業取締規則施行細則左ノ通定ム

昭和十年一月八日

鳥取縣知事

中

谷

秀

### 牛乳營業取締規則施行細則

#### 第一章 總則

第一條 本令ニ於テ規則ト稱スルハ昭和八年十月内務省令第三十七號牛乳營業取締規則ヲ謂ヒ  
作業場ト稱スルハ牛乳ノ搾取及處理又ハ乳製品ノ製造ヲ爲ス場所ヲ謂フ

第二條 本令ニ依リ知事ニ提出スル願届書ハ營業所々在地ノ所轄警察署長ヲ經由スベシ

第三條 本令ニ依ル願届人ニシテ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ法定代理人準禁治産者ナル

トキハ保佐人妻ナルトキハ夫ノ各連署ヲ要ス  
前項ノ法定代理人保佐人又ハ夫ニ異動アリタルトキハ十日以内ニ届出ヅベシ

第四條 牛乳營業者本令ニ依リ許可ヲ受ケタル工事竣工シタルトキハ知事ニ届出デ検査済ノ證  
ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第五條 規則第三條ノ規定ニ依ル牛乳營業ヲ繼承セントスル者ハ双方連署(相續ノ場合ニ在リ  
テハ戶籍謄本添附)ノ上知事ニ出願許可ヲ受クベシ 但シ連署シ能ハザル事由アルトキハ其ノ  
旨願書ニ記載スベシ

第六條 牛乳營業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ事由ヲ具シ七日以内ニ知事ニ届出ヅベ  
シ 但シ規則第三條ノ營業者ニ在リテハ營業許可證ヲ添附スベシ

一 廢業又ハ休業シタルトキ

二 本籍、住所、氏名、(法人ニ在リテハ名稱事務所ノ所在地及代表者ノ氏名並ニ定款)又ハ商  
號ニ變更アリタルトキ

三 死亡又ハ所在不明トナリタルトキ

#### 四 法人解散シタルトキ

前項第三號ノ場合ニ在リテハ戶籍法第一百七條ニ依ル届出義務者ヨリ第四號ノ場合ニ在リテハ  
清算人ヨリ其ノ手續ヲ爲スベシ

第七條 牛乳營業者ハ家族、雇人其ノ他ノ者ヲシテ牛乳ノ搾取、若ハ處理ノ各操作又ハ乳製品  
ノ製造ニ従事セシメントスルトキハ其ノ本籍、住所氏名及生年月日ヲ具シ規則第十七條所定ノ  
疾病ナキコトヲ證明シタル醫師ノ診斷書及排泄物(尿、尿、咯痰、其ノ他)ノ細菌検査成績書  
ヲ添附シ所轄警察署長ニ届出ヅベシ

營業者自ラ前項ノ業務ニ従事セントスルトキ亦同ジ

前二項ノ従業者業務ニ従事セザルニ至リタルトキハ五日以内ニ所轄警察署長ニ届出ヅベシ

第八條 知事ハ衛生上ノ危害又ハ公害ヲ生ズルノ虞アリト認メタルトキハ牛舎又ハ作業場ノ改  
築移轉若ハ構造設備ノ變更、修理其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトアルベシ

第九條 牛乳營業者ハ毎月一回以上牛舎及作業場ノ清潔方法ヲ行ヒ所轄警察署長ノ検査ヲ受ク  
ベシ

第十條 牛乳營業者、組合ヲ組織シタルトキハ規約及代表者ヲ定メ五日以内ニ知事ニ届出デ認

可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第十一條 組合規約ニハ左ノ各號ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 名稱及目的
  - 二 事務所ノ位置
  - 三 役員ノ種別
  - 四 役員ノ選任、任期、解任及權限ニ關スル事項
  - 五 會議ニ關スル事項
  - 六 經理ニ關スル事項
  - 七 違約者處分ニ關スル事項
  - 八 加入、脫退ニ關スル事項
  - 九 其ノ他必要ト認ムル事項
- 第十二條 組合役員ヲ選任シ又ハ之ニ異動アリタルトキ若ハ解散ノ決議ヲ爲シタルトキハ十日以内ニ組合長又ハ之ニ代ルベキ者ヨリ知事ニ届出ツベシ
- 第十三條 知事ニ於テ必要アリト認メタルトキハ規約ノ變更役員ノ改選決議事項ノ取消又ハ變更

ヲ命ズルコトアルベシ

第十四條 牛乳營業者更ニ販賣所ヲ設ケタルトキハ左ノ事項ヲ具シ五日以内ニ知事ニ届出ツベシ

之ヲ廢止シタルトキ亦同ジ

- 一 販賣所ノ所在地
- 二 販賣區域
- 三 販賣方法
- 四 販賣主任者ノ住所氏名
- 五 販賣開始ノ時

第十五條 牛乳營業者他府縣ヨリ牛乳ヲ移入セントスルトキハ左ノ各號ノ事項ヲ具シ知事ニ届出

ツベシ

之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

- 一 移出入地
- 二 移出入者ノ住所氏名
- 三 移入期間

#### 四 移入方法

第十六條 牛乳營業者ハ生乳又ハ低温、高温、殺菌乳ヲ各混合販賣スルコトヲ得ズ

第十七條 牛乳營業者ハ別記第一號様式ノ標札ヲ店頭又ハ門戸ノ看易キ場所ニ掲出スベシ

第十八條 牛乳營業者ハ牛乳配達人ヲシテ所轄警察署ノ烙印ヲ受ケタル別記第二號様式ノ鑑札ヲ從業中携帯セシムベシ

第十九條 牛乳營業者ハ別記第三號様式ニ依リ毎月五日迄ニ前月中ノ搾乳量、處理量、移入量又ハ移出量ヲ知事ニ届出ヅベシ

乳製品製造營業者ニ在リテハ第四號様式ニ依リ其ノ製造量ニ付亦同シ

第二十條 牛乳營業者處理セザル牛乳ヲ「バター」「チーズ」ノ製造營業者ニ販賣セントスルトキハ規則第十二條第一項ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第二十一條 牛乳營業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ營業ヲ停止シ若ハ許可ヲ取消スコトアルベシ

- 一 竣工期日ヲ經過スルモ其ノ工事竣工ノ見込ナキトキ
- 二 使用認可後三箇月ヲ經過スルモ營業ヲ開始セザルトキ

三 休業引續キ六箇月以上ニ亘ルトキ

四 營業者引續キ六箇月以上所在不明トナリタルトキ

五 他人ニ名義ヲ假スノ事實アリタルトキ

六 衛生又ハ公益上不適當ト認メタルトキ

七 本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ

#### 第二章 牛乳搾取營業

第二十二條 牛乳搾取營業(以下單ニ搾取營業ト謂フ)ノ届書ニハ左ノ各號ヲ具備スベシ

一 本籍、住所、職業、氏名、生年月日(法人又ハ組合ニ在リテハ其ノ名稱、事務所ノ所在地、代表者ノ住所氏名並ニ定款ノ寫)及商號

二 牛乳搾取場ノ所在地

三 牛舎周圍一〇〇「メートル」以内ニ於ケル見取圖

四 建物ノ構造設備及配置並ニ用途ヲ示シタル縮尺六十分ノ一ノ平面圖

五 乳牛ノ頭數、種類、名稱、年齢、毛色、體高、産地及規則第四條所定ノ疾病ナキコトヲ證明シタル獸醫師ノ診斷書

六 牛乳ノ取扱方法

七 搾取シタル牛乳ヲ處理營業者ニ販賣スル場合ニ在リテハ其ノ住所氏名

八 牛乳容器其ノ他ノ器具ノ滅菌方法

九 使用水ノ供給方法及其ノ水質試験竝ニ細菌検査成績書

十 糞尿及汚物ノ處置方法

十一 營業開始ノ年月日

前項第二號乃至第十一號ノ事項ヲ變更シタルトキハ其ノ事項ニ付前項ニ準ジ七日以内ニ届出ツベシ

第二十三條 特別牛乳ノ搾取營業許可申請書ニハ左ノ各號ヲ具備スベシ

一 前條第一號、第三號、第五號及第六號、第八號乃至第十一號ニ掲グル事項

二 建物ノ配置及用途ヲ示シタル縮尺百分ノ一ノ平面圖竝ニ牛舎及搾乳室ノ縮尺六十分ノ一ノ

立體各面圖

三 牛舎及搾乳室、飼料調理室、飼料貯藏室、井戸等ノ構造仕様書

四 搾乳ノ用ニ供セントスル乳牛ノ出願六箇月以内ニ施行シタル「ツベルクリン」検査成績書

五 運動場ノ位置及面積竝ニ其ノ設備

六 工事竣工期日

前各號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事項ニ付前項ニ準ジ知事ニ出願許可ヲ受クベシ

第二十四條 牛乳搾取場ハ左ノ場所ニ設置スルコトヲ得ズ但シ土地ノ狀況ニ依リ斟酌スルコトアルベシ

一 人家稠密ノ場所

二 社寺、學校、公園、病院、河川、水道水源池又ハ飲料用井泉若ハ道路ニ近接スル場所

三 前各號ノ他衛生上ノ危害又ハ公害ヲ生ズル虞アル場所

第二十五條 特別牛乳搾取場ノ構造設備ハ左ノ制限ニ從フベシ

一 牛舎ハ各建物ヨリ適當ノ距離ヲ有スルコト

二 牛舎ハ高サ二、五「メートル」以上ノ天井張リトシ適當ナル採光換氣及手洗裝置竝ニ良水

ノ充分ナル供給設備ヲ爲スコト

三 牛舎ノ軒下出入口及舎内ノ地盤ハ周圍地面ヨリ適當ナル高サヲ保チ不滲透質材料ヲ以テ築

造シ且適當ナル勾配ヲ附スルコト

四 牛舎内側面ハ地盤ヨリ一、五「メートル」以上ノ腰板張リト爲スコト

- 五 牛房ハ一頭毎ニ間口一、一「メートル」以上奥行一、六「メートル」乃至一、七五「メートル」トシ間口兩側ニハ支柱ヲ設ケ乳牛ヲ繫留スル裝置ヲ爲シ且各房ハ境界ヲ設クルコト
- 六 牛房ノ前方及後方ニハ幅員一、五「メートル」以上牛房五房以上ナルトキハ前方ヨリ後方ニ通ズル一、〇「メートル」以上ノ通路一箇所以上ヲ設クルコト但シ牛房對向式ナルトキハ中央通路ハ幅員二、五「メートル」以上トスルコト
- 七 牛房後方ニ「コンクリート」敷ヲ以テ幅員〇、三三「メートル」以上深サ〇、一五「メートル」以上ノ適當ナル勾配ヲ附シタル排尿溝ヲ設クルコト
- 八 搾乳室ハ牛舎ト別棟トシ間口一、六「メートル」以上奥行二、〇「メートル」以上トシ其ノ構造設備ハ第二號乃至第四號ニ準ジ構築スルコト
- 九 牛乳冷却裝置ヲ設クルコト
- 十 牛乳取扱室及器具取扱室ヲ設ケ其ノ構造ハ處理場(第三十二條乃至第三十五條)ニ準ジ構築スルコト
- 十一 使用水ニシテ上水道ニ依ラザルモノニ在リテハ其ノ供給設備ハ牛舎、汚物舎、糞尿溜、汚水溜ヨリ一〇、〇「メートル」以上ノ距離ヲ有シ汚物ノ浸入ヲ防グニ足ルベキ裝置ヲ爲

シ其ノ周圍地盤ハ四平方「メートル」以上ノ不滲透質材料ヲ以テ建造スルコト

- 十二 牛舎内ニ飼糧貯藏室及飼料調理室ヲ設クルトキハ牛房ト適當ナル區劃ヲ爲スコト
- 十三 分娩室ハ牛舎又ハ搾乳室ト別棟トスルコト
- 十四 汚物舎ハ牛舎ト適當ナル距離ヲ有シ地盤及周壁ハ不滲透質材料ヲ以テ建造シ出入口ニハ扉ヲ設クルコト
- 十五 糞尿溜、汚水溜ハ牛舎又ハ搾乳室ヨリ三、〇「メートル」以上ノ距離ヲ有シ不滲透質材料ヲ以テ建造シ適當ノ覆蓋ヲ施シ周縁ハ地面ヨリ高クシ雨水ノ流入ヲ防グ設備ヲ爲スコト
- 十六 運動場ハ周圍ニ適當ナル排水設備及堅牢ナル柵ヲ設ケ其ノ面積ハ乳牛一頭ニ付一「メートル」以上トシ五頭以上一頭ヲ増ス毎ニ〇、三「メートル」以上ヲ加フルコト
- 十七 隔離舎ハ別棟トシ牛舎、搾乳室ヨリ二〇、〇「メートル」以上ノ距離ヲ有シ其ノ構造ハ第二號乃至第七號ニ準ジ建造スルコト
- 十八 牛乳搾取場ノ周圍ニハ地面ヨリ高サ一、八「メートル」以上ノ完全ナル塙壁ヲ設クルコト
- 第二十六條 牛乳搾取營業者ハ左ノ事項ヲ遵守スベシ
- 一 牛舎内ニハ糞、尿、及汚水ノ停滯セザル様常ニ清潔ヲ保持スルコト

- 二 牛房ニハ一房二頭以上ヲ繫留セザルコト
- 三 牛舎ニハ乳牛ノ種牡牛、犢以外ノ家畜又ハ家禽類ヲ飼養セザルコト
- 四 乳牛ハ毎日清潔ニ梳拭シ且一時間以上運動ヲ爲サシムルコト
- 五 病牛ハ隔離舎産牛ハ分娩室以外ノ場合ニ繫留セザルコト
- 六 所定ノ各室ニハ其ノ標示ヲ爲シ他ノ用途ニ使用セザルコト
- 七 搾乳セントスルトキハ一頭毎ニ新ナル微温湯ニテ乳房ヲ洗滌シ且清潔ナル白布ニテ拭淨スルコト
- 八 每搾乳時搾リ始メノ牛乳少許ハ除去シ搾取シタル牛乳ハ直ニ搬出ノ上濾過冷却シ其ノ容器ニハ覆蓋ヲ施スコト
- 九 作業ニ従事スル者ハ常ニ身体ヲ清潔ニシ就業前手指ヲ清洗シ就業中白衣白帽ヲ着ケ清潔ナル履物ヲ用フルコト
- 十 隔離舎ニ病牛ヲ繫留シタルトキハ其ノ病名ヲ記シタル標札ヲ出入口見易キ箇所ニ掲出シ之ニ使用スル器具ハ専用トシ其ノ牛乳容器ニハ「要特別滅菌」ト朱書スルコト
- 十一 牛乳ノ容器、量器其ノ他牛乳取扱上ニ使用スル器具ハ使用ノ都度一%ノ「炭酸ソーダ」

水ニテ洗淨シタル後淨水ニテ洗淨シ且攝氏九十五度以上ノ熱湯又ハ蒸氣ヲ以テ五分間以上若ハ噴出蒸氣ヲ以テ一分間以上滅菌方法ヲ施スコト

十二 牛乳ノ取扱貯藏若ハ運搬ノ用ニ供スル器具ハ他ノ用途ニ之ヲ使用セザルコト

十三 特別牛乳營業者ニシテ新ニ牛ヲ牽入シタルトキハ豫備室ニ收容シ當該官吏ノ検査ヲ受ケタル後ニ非ザレバ牛舎内ニ牽入ザルコト

十四 牛舎内ニ飼料調理場、飼糧貯藏場ヲ設クル場合ハ牛房ト適當ナル間壁ヲ設クルコト

十五 乳牛分娩シタルトキハ五日以内ニ其ノ旨警察署長ニ届出ヅルコト

第二十七條 牛乳搾取營業者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ直ニ所轄警察署長ニ届出ヅベシ

一 乳牛ニシテ規則第四條一號ノ疾病及同號以外ノ結核又ハ傳染性流産ニ罹リ若ハ其ノ疑アリト認メタルトキ

二 規則第四條第二號又ハ第三號ノ藥品ヲ乳牛ニ内服セシメ若ハ注射ヲ受ケシメタルトキ又ハ

規則第五條第二項ノ告知ヲ受ケタルトキ

三 規則第四條第一號ノ疾病治療シタルトキ

第二十八條 牛乳搾取營業者ハ別記第五號様式ノ牛籍簿ヲ備ヘ乳牛異動ノ都度整理シ所轄警察署長

及當該官吏ノ認印ヲ受クベシ

第二十九條 牛乳搾取營業者ハ規則第四條各號ノ一ニ該當スル乳牛ヲ再ビ搾取ノ用ニ供セントスルトキハ獸醫師ノ診斷書ヲ添附シ其ノ旨知事ニ届出ヅベシ

第三十條 乳牛ハ當該官吏ヲシテ検査セシメ合格シタルモノニハ角又ハ蹄ニ符號ヲ烙印セシムルコトアルベシ

前項ノ烙印ハ知事ノ許可ナクシテ消除スルコトヲ得ズ

第三十一條 搾乳ヲ休止シ又ハ廢止シタルトキハ五日以内ニ所轄警察署長ニ届出ヅベシ

但シ斃死ノ場合ニ在リテハ獸醫師ノ診斷書ヲ添附スベシ

### 第三章 牛乳處理營業

第三十二條 牛乳處理營業ノ許可申請書ニハ左ノ各號ヲ具備スベシ 但シ特別牛乳ノ處理ヲ爲ス者

ニ在リテハ第二十三條各號ノ事項ヲ併記スベシ

一 營業者ノ本籍、住所、職業、氏名、生年月日。(法人ニ在リテハ其ノ名稱、事務所ノ所在地、代表者ノ住所氏名並ニ定款ノ寫) 及商號

二 牛乳處理場ノ所在地

三 作業上ノ周圍一〇〇、「メートル」以内ニ於ケル事物並ニ隣接建物トノ距離ヲ明示シタル見取圖

四 建物ノ構造及設備ノ仕様書並ニ其ノ配置ヲ表シタル縮尺六十分ノ一ノ平面圖及立體各面圖

五 一日ノ牛乳處理豫定量

六 牛乳ノ種別及處理方法

七 使用機械器具類ノ名稱及圖面

八 使用水ノ供給方法及水質試驗並ニ細菌検査成績書

九 工事竣工期日

前項第二號、第四號、第六號乃至八號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ知事ノ許可ヲ受クベシ

第三十三條 牛乳處理場ハ畜舍禽舍及汚物舍ニ接近シタル場所又ハ衛生上危害ヲ生ズルノ虞アル場所ニ設置スルコトヲ得ズ

第三十四條 牛乳處理場ノ構造設備ハ左ノ制限ニ從フベシ 但シ土地ノ狀況ニ依リ其ノ一部ヲ斟酌スルコトアルベシ

一 牛乳取扱室及器具取扱室ハ各十二平方「メートル」以上トスルコト



- 二 地盤ハ厚サ〇、〇五「メートル」以上ノ「コンクリート」敷トシ適當ナル勾配ヲ附シ且排水溝ヲ設クルコト
  - 三 天井ハ高サ二、五「メートル」以上トシ内壁ハ地盤ヨリ一、五「メートル」以上不滲透質材料ヲ以テ築造シ又ハ腰板張リトスルコト
  - 四 適當ナル採光換氣窓ヲ設ケ鼠族昆虫類ノ侵入ヲ防止シ得ベキ金網設備ヲ爲スコト
  - 五 牛乳冷却裝置ヲ設クルコト
  - 六 牛乳貯藏室ヲ設クルトキハ他ノ部分ト區隔シ冷却保持ニ必要ナル設備ヲ爲スコト
  - 七 牛乳殺菌及器具ノ滅菌ニ必要ナル設備ヲ爲シ且完全ナル溫度計ヲ附設スルコト  
但シ特別牛乳處理ニ在リテハ牛乳殺菌器ニハ自記溫度計ヲ裝置スルコト
  - 八 牛乳取扱器具整頓棚及流出裝置ノ洗滌設備ヲ爲スコト
- 第三十五條 牛乳處理營業者ハ左ノ事項ヲ遵守スベシ
- 一 牛乳取扱室ハ牛乳ノ濾過、小分、殺菌、冷却ノ操作ニ充ツルコト
  - 二 器具取扱室ハ牛乳ノ容器、量器其ノ他牛乳ヲ取扱フ器具ノ洗滌滅菌ノ操作ニ充ツルコト
  - 三 規則第六條第五號乃至第七號ノ牛乳ヲ檢出シタルトキハ遲滯ナク原料牛乳ト明記シタル容

器ニ移シ區別スルコト

- 四 第二十六條第六號、第九號、第十一號、第十二號ニ定ムル事項
- 五 牛乳運搬用具置場ハ處理場ト分離シテ設クルコト

第四章 乳製品製造營業

- 第三十六條 乳製品ノ製造營業許可申請書ニハ左ノ事項ヲ具備スベシ
- 一 第三十二條第一號、第五號ノ事項
  - 二 第三十二條第四號、第八號及第九號ノ事項
  - 三 乳製品製造場ノ所在地
  - 四 乳製品ノ種類、製造方法
  - 五 原料乳ノ仕入先
- 前項第二號乃至第五號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ知事ノ許可ヲ受クベシ
- 第三十七條 第三十三條ノ規定ハ乳製品製造場ニ之ヲ準用ス
- 第三十八條 乳製品製造場ハ製造室、牛乳貯藏室、包裝室及製品置場ニ區別シ其ノ構造ハ第三十四條第二號乃至第五號及第八號ニ準ジ築造スベシ

第三十九條 乳製品製造營業者ハ第二十六條第六號、第九號、第十一號及第十二號ニ定ムル事項ヲ遵守スベシ

第五章 牛乳販賣營業

第四十條 牛乳販賣(配達販賣)營業ヲ爲サントスル者ハ各號ノ事項ヲ具シ知事ニ届出ヅベシ

一 營業者ノ本籍、住所、氏名、生年月日及商號

二 營業所々在在

三 仕入先處理場ノ所在地及其ノ營業者ノ氏名(他府縣ノ處理營業者ナルトキハ其ノ許可證ノ寫ヲ添附スベシ)

四 販賣區域並ニ一日ノ販賣豫定量

五 牛乳ノ販賣價格

前項各號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事項ニ付前項ニ準ジ届出ヅベシ

第四十一條 牛乳處理營業者ノ封緘シタル牛乳ヲ其ノ儘販賣スル場合ハ變敗ヲ防止スルニ足ルベキ冷却裝置及整頓棚ヲ設クベシ

第四十二條 牛乳販賣營業者ハ左ノ事項ヲ遵守スベシ

一 直接飲用ニ供スル牛乳ハ牛乳處理場ニ於テ壇詰シタルモノニ非ザレバ販賣セザルコト

二 牛乳ノ詰替又ハ密閉栓取替ヲ爲サザルコト

三 小賣配布ノ牛乳ハ收集シタル空壇ト同一容器ニ收メザルコト

四 牛乳配達容器ハ木製又ハ金屬製有蓋器トシ常ニ清潔ヲ保持スルコト

第四十三條 許可ヲ受ケズシテ第五條ノ營業ヲ繼承シ又ハ第二十三條第二項、第三十二條第二項若ハ第三十六條第二項ノ事項ヲ變更シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第四十四條 届出ヲ爲サズシテ第七條ノ營業ニ從事シ又ハ從事セシメタル者第十五條ノ牛乳ヲ移入シ又ハ第二十九條ノ乳牛ヲ再ビ搾取ノ用ニ供シ若ハ第四十條第一項ノ營業ヲ爲シ又ハ第四十條第二項ノ事項ヲ變更シタル者ハ科料ニ處ス

第四十五條 左ニ掲グルモノハ拘留又ハ科料ニ處ス

一 第四條、第六條、第九條、第十四條、第十六條乃至第十九條、第二十二條、第二項第二十

六條乃至第二十八條、第三十條第二項、第三十一條、第三十五條、第三十九條、第四十二條ノ規定ニ違反シタル者

二 第八條又ハ第二十一條ノ規定ニ基ク命令ニ違反シタル者

第四十六條 牛乳營業者ニシテ未成年者禁治產者又ハ法人ナルトキハ本令ニ依ル罰則ハ之ヲ法定代理人又ハ代表者ニ適用ス 但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十七條 牛乳營業者ハ其ノ家族雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出ザルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

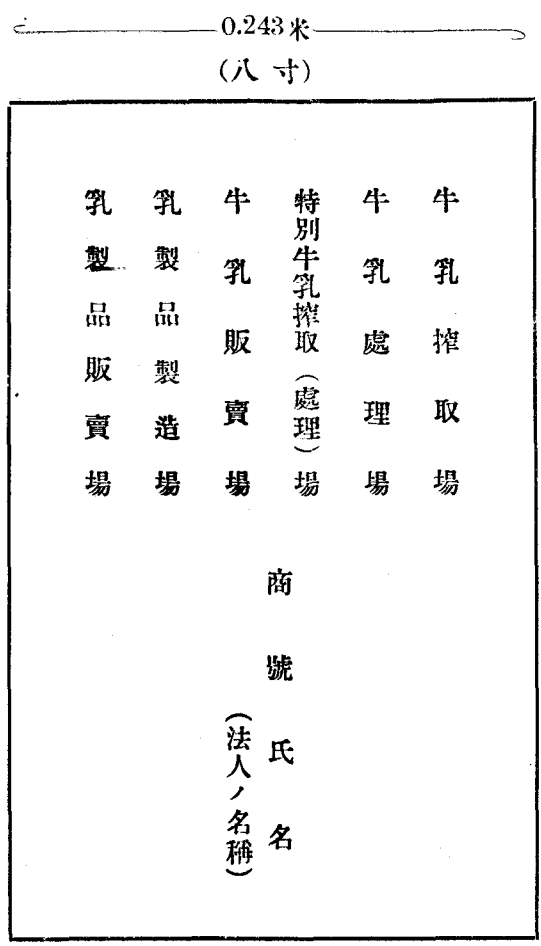
附 則

第四十八條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行シ明治三十三年六月鳥取縣令第二十五號牛乳營業取締規則施行細則ハ之ヲ廢止ス

第四十九條 本令施行ノ際現ニ牛乳ノ請賣ヲ爲ス者ハ本令施行ノ日ヨリ六十日以内ニ第四十條ニ依リ知事ニ届出ツベシ

第五十條 本令施行ノ際現ニ牛乳處理場ヲ有シ其ノ構造設備ニシテ規則及本令ノ規定ニ適合セザルモノニ在リテハ昭和十二年四月末日限り本令ノ規定ニ適合セシメ知事ニ出願使用認可ヲ受クベシ

第一號樣式 (第十七條規定ニ依ルモノ)



第二號樣式 (第十八條規定ニ依ルモノ)

種類別	計	搾取乳牛頭數	搾取量	販賣量	販賣價格	請入先
以下	二才以上	三才以上	四才以上	月未現在飼養總頭數		

第三號樣式 (第十九條規定ニ依ルモノ)

年 月 分 牛乳搾取(處理)販賣届

表面

裏面

粉乳	種類別	原料乳仕入先	製造高	販賣高	販賣價格
<p>右 及 御 届 候</p> <p>年 月 日</p> <p>住 所</p> <p>牛乳搾取(處理)營業者 氏 名</p> <p>知 事 宛</p> <p>第四號樣式 (第十九條第二項規定ニ依ルモノ)</p> <p>年 月 分 乳製品製造販賣届</p>					

胤 種	番 號	種 號	住所氏名	前所有者	煉 乳	其 他	計	年 月 日	住 所	知 事 宛	第五號樣式 (第二十八條規定ニ依ルモノ) 牛 籍 簿
	第 號										

告 示

檢查者氏名	檢查年月日 年 月 日	牽入年月日 年 月 日	特 徵	產 地 縣 市 町	體 高	毛 色	年 齡 歲	異 動	經 歷	結核檢查 番 號	病 歷 年 月 日(何病)ニ罹リ 日(轉歸)	備 考

◆鳥取縣告示第一號

管下畜産組合聯合會會長任期滿了ニ付選舉ノ結果岩美郡津ノ井村大字生山井上光美選任ノ件昭和九年十二月二十八日付認可セリ

昭和十年一月八日

鳥取縣知事

中 谷

秀

◆鳥取縣告示第二號

左記ノ者牛馬商免許鑑札ヲ返納セリ

昭和十年一月八日

鳥取縣知事

中 谷

秀

鑑札番號	住 所	氏 名
第六五號	八頭郡國英村大字山手	蓮 佛 万 吉

第二九八號	東伯郡下郷村大字杉下	太 田 武 平
第二一三號	同 郡古布庄村大字三本杉	川 本 源 一
第二〇二號	同 郡榮村大字上種	平 信 仙 次 郎
第四三一號	西伯郡法勝寺村大字鴨部	本 池 勝 太 郎
第三六五號	同 郡大國村大字猪小路	岡 田 鹿 太 郎
第四一六號	同 郡大山村大字赤松	本 伊 繁 松
第四四〇號	同 郡福生村大字上福原	上 田 菊 次 郎

◆鳥取縣告示第三號

管下東伯郡高城村ニ左記ノ通家畜傳染病發生セリ

昭和十年一月八日

鳥取縣知事

中

谷

秀

病名	畜類	性	年齡	發病年月日	斃死年月日	發病地
氣腫疽	牛	牡	四歲	昭和九年十二月十七日	昭和九年十二月十七日	東伯郡高城村大字河來見

昭和十年一月八日印刷  
昭和十年一月八日發行

發行者 鳥取縣 鳥取市東町 縣  
印刷所 鳥取縣氣高郡大正村大字古海 支所